



「東京グリーンビルディング国際フォーラム

～低炭素化時代の建築物：さらなる省エネに向けた世界の動き～」

(C40共催) 参加者募集について

都は、これまで建築物の低炭素化・省エネ化を推進し、積極的に建築物の省エネ対策に取組む世界の諸都市と交流してきましたが、このたび、「C40東京ワークショップ」の一環として、C40世界大都市気候先導グループと共に「東京グリーンビルディング国際フォーラム」を開催しますので、下記のとおり参加者を募集します。

記

1 開催日時

平成26年6月20日（金）13時30分から17時15分まで（開場13:00）

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎5階 大会議場（東京都新宿区西新宿2-8-1）

3 プログラム

裏面参照

4 参加対象・定員等

どなたでも参加できます。（参加費無料）

300名、日英同時通訳付き

（申込者が定員を超えた場合は抽選とさせて頂きます。）

5 申込方法

お名前(日英併記)、所属(会社名、学校名等)、連絡先(Eメールアドレスおよび電話番号)を記載のうえ、下記にEメールでお申し込みください。

■建築物省エネ国際フォーラム事務局 (株)コングレ内 担当: 富永、秋山、齊藤)

Eメールアドレス: c40tw2014@congre.co.jp

6 主催

東京都

共催: C40世界大都市気候先導グループ

協賛: 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC)、

持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD)

世界グリーンビル協会 (WGBC)

(問い合わせ)

環境局総務部環境政策課 03(5388)3501 都庁内線 42-165



建築物で消費されるエネルギーは、世界全体のエネルギー消費の大きな割合を占めており、アジア地域においては、急速な経済成長や都市化により、今後都市の建築物におけるエネルギー消費の増大が懸念されています。都ではこれまで、キャップ&トレード制度や建築物環境計画書制度など、低炭素都市づくりに向けた先進的施策を展開し、建築物の省エネ化を推進してきましたが、こうした政策は世界各地で着実に進展しており、それに伴い省エネルギー・低炭素型の建築物の建設、改修が進んでいます。

本フォーラムでは、建築物の省エネ化に向けた世界の動向、各都市の優良事例や民間事業者との連携事例などを紹介し、今後の政策を展望します。



《プログラム》(予定)

時 間	内 容
13:30~13:45	挨拶 東京都 開会スピーチ 建築環境・省エネルギー機構 村上周三理事長
13:45~14:15	基調講演1 建築物の省エネの経済効果 ジョンソンコントロール社 副社長 クレイ・ネスラー氏
14:15~14:45	基調講演2 建築物省エネに向けた世界の施策動向 グローバル・ビルディング・パフォーマンス・ネットワーク ⁽¹⁾ エグゼクティブ・ディレクター ピーター・グラハム氏
15:00~15:10	気候変動対策で期待される都市の役割とC40 C40事務局代表
15:10~16:10	パネルディスカッション1 建築物省エネ政策、世界の都市のベストプラクティス モデレーター：ピーター・グラハム氏 パネル：C40都市代表、東京都
16:10~17:10	パネルディスカッション2 更なる建築物省エネにむけた民間事業者の動きと政策 スピーカー/モデレーター：世界グリーンビル協会 ⁽²⁾ CEO ジェーン・ヘンリー WBCSD代表 ⁽³⁾ 、C40都市代表、東京都
17:10~17:15	閉会挨拶 東京都環境局



- (1) グローバル・ビルディング・パフォーマンス・ネットワーク (Global Building Performance Network)
建築分野におけるGHG排出削減のため、ベストプラクティスを集め普及させる世界的なネットワーク
- (2) 世界グリーンビル協会 (World Green Building Council)
100 を超える国のグリーンビル協会のネットワーク組織。メンバーであるグリーンビル協会を支援・強化し、グリーンビルの普及、グリーンビル市場に影響力を発揮し、建築産業をサステイナブルなものに転換すべく活動。
- (3) WBCSD (World Business Council for Sustainable Development) 持続的発展が可能な社会の構築を目指す多国籍企業等で構成する組織。現在 200 社程度が加盟し、本部はスイスのジュネーブにある。日本では AGC 旭硝子他、18 社が参加。

